

行政事業レビューシート (厚生労働省)						
予算事業名	地域保健活動普及等経費		事業開始年度	平成6年度		作成責任者
担当部局庁	健康局		担当課室	総務課保健指導室		地域保健室/保健指導室 大橋正芳/勝又浜子
会計区分	一般会計		上位政策	-		
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	地域保健を担う機関の役割分担と連携を推進し、サービスの受け手である生活者個人の立場に立った地域保健対策の推進を図るため、地域保健対策の啓発普及、保健活動に関する事業の実施等、地域保健活動の充実強化を目的とする。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	地域保健対策の啓発普及のため地域保健対策の推進に関する検討、研修の実施、特定保健指導実施機関の評価方法等の検討などの事業を実施する。					
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 健康安全・危機管理対策総合研究事業企画運営委員会の開催 特定保健指導実施指導機関の評価方法等の検討や保健師中央会議の開催 等 					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	19	21	24	23	23
	執行額	17	17	12		
	執行率	89.4	80.4	50.0		
	総事業費(執行ベース)	17	21	12		
自己点検	支出先・使途の把握水準・状況	支出先及び支出金額については、官庁会計システムにより把握している。 ※本事業は、直接、国から保健師中央会議に係る講師及び健康安全・危機管理対策総合研究企画運営委員会の講師に対して謝金及び旅費を支出しているため、「資金の流れ」及び「費目・使途」欄の記載を省略。				
	見直しの余地	平成21年度については、新型インフルエンザが発生したため、その対応に追われたことにより、地域保健の推進について検討を行う地域保健対策推進検討会が行えなかったこと、また、特定保健指導実施指導機関の評価方法の検討に係る委託業務について、当初予定していた入札価格が低廉な価格ですんだため、不用が生じているところである。なお、平成19年度及び平成20年度では80%以上の執行を行っており、平成23年度以降も引き続き実施する。				
予算監視の効率化	地域保健対策の普及啓発は重要であり必要性は認めるが、予算の効率的な執行に努めること。					
補記						

平成21年度

厚生労働省
12百万円

地域保健対策の啓発普及のため地域保健対策の推進に関する検討、研修の実施、特定保健指導実施機関の評価方法等の検討などの事業を実施

【少額随契】

株式会社 イマージュ
0.9百万円

保健師活動調査集計業務

【少額随契】

株式会社 日本能率協会総合研究所
0.8百万円

保健指導機関の評価方法に関する調査業務

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位:百万円)